

## 厚生労働科学研究費補助金 - 厚生労働省 -

### 《論点案》

#### 1．競争的研究資金を活用すべき対象について

対象が研究開発要素の強い課題、政策的要素の強い課題、行政事業要素が強い課題等に亘っているが、競争的資金で行うことが効果的である課題に絞り込むことが適当ではないか。

経常経費として確保すべきものが競争的資金に落としこまれ、資金が硬直するとともに審査の不透明性が高まっていないか。

例えば感染症モニタリングのように行政的に継続性が必要な調査研究等は、国立研究所等を中心に経常的経費を確保して実施する方が、長期的に見て効率的ではないか。

#### 2．制度の事業運営構造について

各担当課が直接的に事業を運営することで、行政目的を迅速かつ的確に反映できる利点はあるものの、制度全体の戦略整合性や優先性に基づく資源配分が弱まっていないか。

また、管理業務が分散することで事務効率の低下や調整業務の増大を招くとともに、外部から見ても複雑で分かり難くなっていないか。

制度の効果・効率を高めるために、より集約的な運営構造に改革すべきではないか。

#### 3．成果等の評価について

配分機関による評価で、資金配分や成果の状況等が十分に把握され、その有効性や問題点が明らかにされるとともに、改善点の明確化や成果等に関する国民への説明が十分になされているか。

本制度は、目的や投入予算に照らして、成果やその他の効果が十分に得られていると判断するか。特筆すべき成果・効果や科学技術上・社会経済上の貢献はどのようなものか。

本制度への投入予算は、その目的や応募課題数に照らして妥当か。

## 《追加質問事項》

### 1．制度に関する事項

各事業の具体的な公募課題の設定は、誰がどのような過程でどのような要素を考慮して設定するのか、その方法を示して欲しい。

各事業の評価委員の選任方法と人数及びバックグラウンドの分布はどうなっているか。評価者が自由に意見を述べるために、評価者の個別意見が特定されない等の工夫があるか。また評価者を評価するメカニズムはあるか。

各事業を制度として統括する仕組みはどうなっているか。これに携わる職員の専門性や地位（専従・常勤等）、責任・権限はどうか。

民間の研究代表者が少ないが、公募対象として民間機関に制約があるのか。また、行政目的を持つ本研究費を受けることで、民間と共同研究が制限される等、研究者に何らかの制限が生じるか。

現状の間接経費を支払う対象および率は十分と考えるか。今後拡大していく考えはあるか。また、間接経費は包括方式か、積み上げ方式か。積み上げ方式の場合認めない項目は何か。

経費の処理（物品購入、報酬支払い等）についてどのような手続き、処理（伝票等の要求証拠書類）を行っているか。どのような確認作業を行っているか。

応募要領及び応募様式を示して欲しい。

### 2．課題採択・資金配分に関する事項

国の科学技術研究のどの部分を担うのか（他省等で行われている類似の科学技術研究との役割分担を含む）。

厚生労働省の科学技術関係経費全体の中で、本研究資金制度の位置づけ、他のプログラム（類似の競争的資金を含む）やプロジェクト型研究との役割分担・連携・調整の有無、資金配分の方針・方法はどうか。競争的研究資金に分類していないが公募で研究開発を行う事業はあるか。ある場合の事業の性格及び配分金額はどうか。

各事業の新設・改廃・再編の仕組みと、過去10年程度の事業の変遷及び資金配分額の推移を示して欲しい。また、各事業の予算決定プロセスと全体的な資金配分の方針決定・調整方法はどうか。今後、事業単位の予算決定方式を改革する考え方はあるか。

過去3年間程度の予算及び決算ベースでの費目別内訳（総額、交付研究費、うち間接経費、管理経費、うち評価関係経費、等）はどうなっているか。

各事業において、大学/政府系研究機関（厚労系/その他）/民間等（企業/その他）に分けた採択件数、採択率、配分金額を示して欲しい。厚生労働省関係機関への配分金額に上限は設定しているか。また、癌克服研究等の研究開発的要素の強い課題、ワクチン有効性検証等の政策的要素の強い課題、感染症モニタリング等の行政事業的要素が強い課題等への分解は可能か。

事後評価結果を、以降の事前評価等にどのように利用しているか。

例えば国産医療・検査機器等の強化の必要性等が議論されているが、今後の厚労科研費の重点領域や戦略について示して欲しい。

各事業において、個人研究と班研究の比率はどの位か。1課題当たりの研究者数と1人当たり研究費の分布はどうなっているか

支援件数・額の施設別・研究者別の上位ランキングはどうなっているか。エフォート管理は行われているか。行われている場合のエフォートの分布はどうか。どのような確認作業を行っているか。

### 3．研究成果及びその他の効果に関する事項

本研究資金による研究成果を国際的に見た指標はあるか。国際競争の中で日本の優位分野はどこか。

日本の保険医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等の水準は世界的にみてどうか。医薬・医療機器産業等の競争力はどうか。これらに厚生労働科学研究はどの様に寄与していると考えられるか。

特許の帰属及び出願・維持費用の取り扱いはどうなっているか。外国出願や特許収入の状況はどうか。

#### 4．評価結果（意見・結論）に関する事項

国民への成果の還元という視点から見たこれまでの成果と今後の方向性はどうか。また、投入予算との対比の中で成果は十分と考えるか。これまでの資源投入量および採択課題数は、制度目的や提案数に照らして十分と考えるか。

#### 5．その他

本競争的資金に採択された課題とその評価結果について、政府研究開発データベースへの入力状況はどうなっているか。